

1 題材 自動車への限らない夢 A(5) 希望と勇気、努力と強い意志

2 本時の指導

(1) 目標

資料から夢や目標をもち、失敗しても諦めないことの大切さに気付かせることを通して、夢や目標に向かって努力しようという実践意欲と態度を養う。

(2) 情報活用能力の育成について

ホワイトボードによるマッピングや、マッピングシートを活用した情報の整理を行う。マッピングシートは、児童が自分の考えを友達と共有しながら、友達と思考をたどることができるシートである。このシートを基にして、作品展に向けて努力することができた自分の経験を、豊田喜一郎が自動車を作るために努力することができた要因を基に考えを広げながら、情報の整理を行う。

(3) 準備

資料プリント(前半部分のみ)、八つ切り画用紙、ペン、提示用ホワイトボード

(4) 指導過程

時間	学習活動	指導上の留意点
3分	1 今までの自分を振り返る。 (1) 今までの自分が、諦めかけてしまったことについて発表する。	○ 本時までにワークシートにまとめておいた今までの自分の姿を振り返り、頑張ろうと思っていたのに諦めかけてしまったことを確認させる。
20分	2 本教材を読み、喜一郎の気持ちや夢について考える。	○ 資料の前半部分を配布して、範読する。
(5分)	(1) 喜一郎が自動車を造ろうと思ったときの気持ち。	○ 発問の前に、フラッシュカードを使用して、話の内容を整理する。
(3分)	(2) 喜一郎の自動車造りが上手くないかときの気持ち。	○ 発問に対して回答された内容は、教師が板書にメモしていく。
主発問：喜一郎は夢に向かって、なぜ頑張ることができたのでしょうか。		
(12分)	(2) 喜一郎の夢への原動力について考える。	○ リズムよく発問し、主発問での活動に時間をかけることができるようにする。
15分	3 作品展におきかえて考える。 (1) マッピングを作成し、作成した作品展のマッピングを発表する。	○ クラス全体でホワイトボードにマッピングをしながら、喜一郎の考えを視覚化していく。 ○ 各班でマッピングシートを作成し、そのシートをホワイトボードに貼り、教師が紹介する。
7分	4 夢や目標に向かって諦めずに努力することの大切さを考える。 (1) これまでの授業を通して考えたことや、これから自分が頑張りたいことをまとめる。	○ 資料の後半部分を配布し、喜一郎の挑戦が、長い戦いの末にやっと成功したことを確認する。 ○ 夢や目標に向かって諦めずに努力することの大切さを、喜一郎の成功例や、作品展での体験から考えるよう声かけをする。
<p>評価事項 夢や目標に向かって頑張るためには、たくさんの理由があることを知り、失敗しても頑張ることができる理由を自分で見付け、諦めずに取り組む気持ちをもつことができる。</p> <p style="text-align: right;">【ワークシート】</p> <p>□…資料やグループごとのマッピングの内容を振り返り、喜一郎の成功したときの気持ちや、作品展を終えたときの気持ちを想起しながら記入することができるよう助言する。 ☆…自分の夢や、次の目標を考え、それに向けての思いを記入するよう助言する。</p>		
		○ 友達の考えを聞きながら、自分と同じ考えや、新たな考えに気付くことができるよう、自分の考えと比較しながら発表を聞くように声かけをする。

※ 斜体…情報活用能力を育成する学習活動

